ひとり一人の 輝く未来に 寄り添って

それぞれの色（個性）を輝かせる

ひとり一人が持つ個性（らしさ）を美しく輝かせることを尊重し、自分らしく成長できる関わりと環境をつくる保育を行います。

得意も、苦手も、個性として考え、個性を輝かせることに注目し、チャレンジする力を育みます。

豊かな、遊びと体験を応援

多様な人との関わり、身近な物、自然、絵本との出会いから、興味や関心に合わせた「遊びと体験」への挑戦を応援します。

こどもが、自分で好きな遊びを選択できる環境に配慮し、「遊びの深まり」に取り組みます。

安心と挑戦の環境を大切に

こどもは、恐れや不安を感じた時、大人に寄り添う関わりの中で「安心」を得て、恐れや不安から立ち直り、再びチャレンジ（挑戦）する力を発揮します。

こどもの成長に欠かせない、「安心と挑戦」を繰り返す居心地の良い環境づくりを大切にします。

こども まんなか

インクルーシブ保育の取組

誰ひとり取り残されることなく、お互いの違いを認めて一緒に過ごす中で、多様性を尊重し、共生力を育む保育を行います。

こども同士での学び、協働、交流を重視した保育を行い、共生社会の担い手となる人材を育てます。

異年齢での保育を中心に

年齢の異なるこどもたちが、一緒に生活する「異年齢保育」を中心とした環境で保育を行います。

発達や個性の差が大きくなる中で、気の合う仲間や興味の幅が広がり、こども同士の学びや育ち合いが生まれます。

【こどもの学びは、楽しい遊びの深まりから】

こどもは、大人を模倣することから、学びを初めます。
そして、乳幼児期のこどもは、
『遊び』から、資質や能力を育成する大切な時期です。
「こんなことやってみたい」、「面白そう」、「何でだろう」
と思う『遊び』を通して、
自発的な活動としての『遊び』が、充実することで、
『遊びの深まり』が実現されます。
こどもに関わる　全ての人と共に、
こどもまんなか
こどもの最善の利益、輝く未来を追求しましょう。

サークルミーティングタイム

毎日、お互いが顔を見ながら話し合う活動を取り入れ、自分とは違う考え方や経験に触れることで、気持ちの共有、コミュニケーション力を養います。

違う価値観、他者を認め合う体験から、「自ら考え、行動する力」を学び、大切な経験を積み重ねます。

運動会・発表会の行事ではなく･･･

運動会や発表会等の目標日程を決めた行事を行わず、こどもが夢中になって探究する過程や、その結果を参観として、こどもの姿を見ていただきます。

伝統や季節行事を学ぶ機会を確保しつつ、こどもの興味の深まりを中心とした取り組みを行います。

社会福祉法人藍野福祉会　南千里駅前なないろ保育園

自分らしく輝ける場所
保育園は、安心基地

『未来へ繋ぐ海』

好奇心・探求心が高まり、仲間と協力する頼もしい姿に！

好きや得意を「見つけたり」、「広げたり」、「深めたりする」力を伸ばし、大きく成長したこどもたち。それぞれの新たな物語の始まりです。

『ゆりかごの海』

大人の温かい抱っこや、優しい声かけの中で五感を満たし、『自分は愛されている』という絶対的な安心感を育みながら、こどもたちの物語が始まります。

『協力の海』

同年齢・異年齢で過ごす中で、「自分の気持ち」、「相手の気持ち」に気づきます。

ルールや目標を相談しながら、「わくわく」「ドキドキ」の遊びを展開していきます。

『散歩の海』

歩行の確立とともに好奇心が広がり、「自分でやりたい」という自我が芽生えます。

歩く・上る・引っ張るなどの全身運動や、簡単な模倣遊びを通して、探索意欲を満たしていきます。

『探検の海』

異年齢の生活の中で、刺激を受けながら、自分の好きな遊びを見つけて、じっくり遊び、好きな遊びを通して、友だちと一緒にいる心地良さや楽しさを感じます。

『冒険の海』

はじめは、見立て遊びや、つもり遊びの中で、言葉のやり取りを楽しみます。

大人やお友だちの存在を意識しながら、自由に興味を広げていきます。